

第2回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会会議次第 議 事 要 旨

日 時：令和元年6月20日（木）15：00～17：10

場 所：東郷町役場3階政策審議会室

出席委員：高取委員長、藤森委員、金田委員（松野氏代理出席）、小野田委員、石川委員、真野委員、
小島委員、大塚委員、西山委員、

出席オブザーバー：片山委員（斎藤氏代理出席）、林委員、村上委員、鈴鹿委員、大蔵委員

【議事の概要】

項目	議事概要
挨拶	<p>【都市建設部部長挨拶の概要】</p> <p>本委員会は、東郷町のまちづくりの方向性を検討する重要な会議だと認識している。持続可能で多世代から選ばれるまちを目指して、都市計画の土台をつくるため、活発なご議論をお願いしたい。</p>
委員・事務局職員紹介 副委員長指名	<p>【委員・事務局職員紹介】</p> <p>自治会長の変更に伴う、各自治会長の紹介と組織改編と人事異動に伴う事務局職員の紹介。</p> <p>【副委員長指名】</p> <p>前回、第1回東郷町都市計画マスタープラン検討委員会に置いて、副委員長の指名が出来ていなかったため、今回新たに副委員長を指名することとし、本人不在ではあるが、豊橋技術科学大学の松尾委員を副委員長に指名。異議なしとして決定。</p>
議事概要	<p>(1) 町民アンケート結果（速報）について</p> <p>○アンケートの有効回答率について、前回との比較はしているのか。（西山委員） ⇒現時点ではしていないが、比較は可能である。（事務局）</p> <p>○問8について、地区ごとの具体的な取組の内容はわかるのか。（藤森委員） ⇒調査票に記述欄を設けており、記載があったものについては今後集計し、整理していくこととする。（事務局）</p> <p>○問3について、「その他」の回答が多いが内訳は把握しているのか。また、新成人向けアンケート調査を行っていたかと思うが、そちらの結果はどうなっているのか。（村上委員） ⇒問3の「その他」については、調査票に記述欄を設けており、記載があったものについては現在集計中のため、今後整理していくこととする。新成人向けアンケート調査結果については7件ほどの回答であり現在の集計には反映できていないが、今後示したいと思う。（事務局）</p> <p>○住民の方の関心は公共交通が高いと思いますが、「東郷町のこれからのまちづくりについて」の設問や、「分野別まちづくりについて」の設問については、地域別構想に反映させてるように、地域別の回答傾向が見られるとよいのではないと思う。（高取委員長） ⇒今後、地域別等のクロス集計を行い、詳細な分析を進めていきたいと考えている。（事務局）</p>

(2) 東郷町の現状と課題について (3) 将来都市像・都市構造について

事務局からたたき台として案を出しているが、各委員の立場から、東郷町らしさとはなんであるのか、多世代に選ばれるような町にするためにはどのような施策を行うべきなのか、活発なご意見をお願いしたい (高取委員長)

○市街化区域外において、市街化が無秩序に拡大するスプロール化が今後進行する可能性がある。こうした現象が町の魅力を損ねるおそれもあり、東郷町の開発状況や地域別の人口動向などの現状を数値で把握できないか。市街化区域内の空き地・空き家等の低未利用地がランダムに発生するスポンジ化は今のところ顕在化していないが、今後増加する可能性があるため、都市マスとしても、課題として整理したほうがよいのでは。

(藤森委員)

○開発状況や空き家の状況は、事務局として把握しているのか。(高取委員長)

⇒空き家の状況については、現在把握しているもので四十数件。今後どのように調査・活用するかは未定。(事務局)

○東郷町としての将来的にどのような人口や世帯の予測がわかる資料はあるのか。

(高取委員長)

⇒立地適正化計画の中では、2042年の人口分布の予測を出している。

○愛知池周辺が拠点に位置づけられているが、日進市では、スマートICの整備を行うと聞いているが、把握しているのか。今回の都市マスにその内容を盛り込めるのか。

(西山委員)

⇒日進市もはじめたという段階で、現時点公表はしていないと思うので、整備状況については都市計画課としてはお答えできない。また資料の中では具体的な明記はしていないが、P46の「(3) その他」で周辺市の動向を見据えた市街化の形成を図るということで、一部文言としては盛り込んでいる。(事務局)

p.47に分散型市街地への対応という項目があるが、どの程度対応するか検討するためにも地域別の将来人口・世帯分布を把握が必要なのではないか。(高取委員長)

⇒将来人口としては減少するが、世帯数との関連性も含めて、今後皆さんと検討していきたい。(事務局)

○諸輪東部開発で、優良農地が開発されて工業地になった。今後もだんだん優良農地が開発されていくのは少し違和感があるが。(石川委員)

⇒東郷町としての農地を全て開発して市街化を進めていくわけではない。農振地域に関しては、東郷農業振興地域整備計画として計画をもっており、諸輪東部開発地域など、三好IC周辺での開発も実施していくと位置づけている。(事務局)

○(意見) p.40にインフラ整備費の増大についてのデータがあるため、課題として、持続可能な都市運営にも言及すべきなのではないか。また、拠点の位置づけとして、市街地における防災の考え方を含めたほうがよいのではないか。(林委員)

○同じく、地域防災計画では拠点の位置づけはあるのか。そちらとの整合は確認したほうがよい。(高取委員長)

⇒地域防災計画などの関連計画を確認しながら、整合性をとっていきたい。(事務局)

○農地と分散型市街地が共存しているところが東郷町の特徴だと思う。農業の担い手確保や荒廃農地への対応など、農業環境の保全・維持といった視点で都市マス上でも記載があってもよいのではないか。現在は工場立地が進んでいるが、企業が撤退した場合の対

	<p>応も考えておくべきなのではないか。例えば武蔵野市では、工業用地転用の際の届出制度を設けている（藤森委員）</p> <p>⇒農地の保全に関する必要性は認識しているため、事務局としても記載について検討したい。工場立地については、工場跡地が現時点ではないが、検討する必要があるかもしれない。（事務局）</p> <p>○町内に市民農園、貸し農園はどのくらいあるのか。（高取委員長）</p> <p>⇒町営のものは市街化調整区域内のみとなっている。（事務局）</p> <p>○（意見）町民アンケートの結果をみると、緑地や空き地活用等への一定のニーズがあるように思う。都市マスのなかでも、多様なライフスタイルとして緑ある居住環境をつくるという方針があってもよいのではないか。（高取委員長）</p> <p>○町内の道路交通網として、都市計画道路はほとんど国・県整備のものだと思うが、現状の整備水準に対する評価や基準のようなものはあるのか。（藤森委員）</p> <p>⇒県で都市計画道路見直しを行っており、どちらかという県全体では都計道は減る見通しとなっている。（斎藤委員）</p> <p>○（意見）p.45の拠点の位置づけとして、産業拠点が市街化調整区域内にあることにやや違和感がある。拠点そのものを変えるというよりも、文言や表現の修正で対応可能かと思う。また、都市マスは、住民と行政がまちづくりの方向性を共有するためのものであることから、セントラル開発によって町がどう変わるのかという点がわかりやすく示せるとよいのではないか。立地適正化計画の人口フレームとの齟齬に他市町村も苦慮しているとのことであったため、整合性の点にも留意してもらいたい。（斎藤委員）</p> <p>○（意見）p.44の都市づくりの目標の内容が、やや一般的な視点のみとなっているように感じる。東郷町としての課題やまちづくりの方向性といった取組みの柱が見えるようにまとめられるとよいのではないか。（高取委員長）</p> <p>○（意見）町民が、東郷町への愛着や誇りを持って暮らせるようなまちづくりの視点（シビックプライドの醸成）も加味できるとよいのではないか。（藤森委員）</p> <p>○（意見）町の文化・歴史を生かしたまちづくりの視点を入れてもよいのではないか。また、今後は、多世代交流や住民主体のエリアマネジメント、タウンマネジメントといった取組みの促進も重要になるかと思う。（村上委員）</p> <p>○（意見）国際化の状況が把握できるとよいのではないか。外国人居住者数の推移等もわかるとなにか傾向が掴めるのではないかと。（大蔵委員）</p>
次回	<p>次回検討委員会は10月頃を予定している。具体的な日程については、改めて調整させていただきたい。（事務局）</p>

以上